

## 科学者委員会（第23期・第23回）議事要旨

- 1 日 時 平成28年4月14日（木）12時10分～13時15分
- 2 場 所 日本学術会議 第5-B会議室（5階）
- 3 出席者 向井千秋委員長、長野哲雄副委員長、小森田秋夫幹事、土井美和子幹事  
（第一部）久留島典子委員、山川充夫委員  
（第二部）大杉立委員、古谷野潔委員  
（第三部）萩原一郎委員、氷見山幸夫委員
- 4 配布資料  
資料1 科学者委員会第15回議事要旨（案）  
資料2 第23期科学者委員会各分科会の開催状況  
資料3 協力学術研究団体に対する実態調査結果概要報告  
参考資料1 日本学術会議細則の改正について  
参考資料2 科学者委員会運営要綱の改正について
- 5 議題
  - （1）議事要旨の確認
    - ・前回（平成27年10月2日（金））開催の第15回議事要旨案について、確認のうえ了承された。
  - （2）科学者委員会の今後の開催について
    - ・メール審議について、「提言案」をメール審議の対象とすること、掲示板で議論することについて意見があり、委員長から、相談してみたいとの発言があった。
    - ・未開催の4分科会のうち「学術体制分科会」の立ち上げについては、前回の審議を踏まえ委員長が会長に相談したところ、前期に検討された内容から提言を作成するのは難しいのではないかと御意見について報告があった。これに対し、世話人から、委員の人選も含め、前期の継続性も勘案し、改めて立ち上げを検討したいとの意見があり、世話人が委員長同席のもと、会長に相談することとなった。  
（その結果、世話人が「提案書」を作成し、委員各位に意見照会することとされた。）
    - ・「学術誌問題検討分科会」については、委員会が多過ぎるとの外部評価も踏まえ、「学術誌問題検討分科会」を廃止し、その対象分野も含め「学術体制分科会」で議論してはどうかとの意見があり、上記と併せ世話人から会長に相談することとされた。  
（その結果、会長からは、「学術誌問題」は別途検討することとし、「学術体制分科会」の議論には含めないとの指示があった。）
    - ・「知的財産検討分科会」については、活動していないことから廃止してはど

うかとの意見があったが、委員長から、委員が決まっており、活動状況について、分科会担当事務局から説明を行うこととされた。

- ・委員長から、各分科会の活動状況について、担当事務局は、出席のうえ説明できる体制を整えるよう指示があった。

(3) 協力学術研究団体の実態調査（報告）について

- ・事務局から資料3に基づき説明を行った。
- ・本件調査システムについて、他のアンケートでも利用できるのかとの質問があり、事務局から、別途システムの構築が必要である旨、回答した。
- ・未回答団体や指定基準を満たしていない団体については、事務的に再調査を行い、委員会に報告することとされた。

(4) その他

- ・次回開催については、改めて日程調整を行うこととされた。
- ・委員長から、5月31日に会員として定年を迎える萩原委員について、後任の進捗を進めていることの報告があり、その後、同委員から御挨拶が行われた。

以上